

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
精度管理学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	小林 浩二
授 業 概 要					
臨床検査における基本的な精度管理手法を理解すると同時に、データを用いて管理図を作成し得られた管理図から管理状態の把握と検査上の改善点を探索する。また、標準化、トレーサビリティや不確かさの推定など実務に対応できる処理能力を身に付ける。精度管理を実施する上で必要となる統計学的な基礎理論について解説を行いエビデンスに基づく臨床検査が実施できる人材を育成する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・精度管理用語が理解できる。 ・基準範囲、カットオフ値の算出理論を理解できる。 ・精度管理図を作成することが出来る。 ・精度管理図から管理状態を把握することが出来る。 ・不確かさの推定に関して理解できる。 ・各検査分野における精度管理の必要性について理解できる。 ・バリデーションについて理解できる。 ・パソコンを使用して解析結果を導くことができる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	精度管理概要				小林 浩二
2	精密と正確－1：精密度				
3	精密と正確－2：正確度				
4	内部精度管理法－1：管理試料を用いた管理図法				
5	内部精度管理法－2：管理試料を用いた管理図法				
6	内部精度管理法－3：患者試料を用いた管理図法				
7	外部精度管理法：コントロールサーベイ				
8	検査法の標準化：標準法、基準法、標準血清、標準物質				
9	検査データの種類－1：基準値、カットオフ値、パニック値				
10	検査データの種類－2：基準値の設定法				
11	検査法の評価－1：バリデーション				
12	検査法の評価－2：特異度、感度、適中度、ROC曲線				
13	不確かさについて－1：不確かさの推定（理論）				
14	不確かさについて－2：不確かさの推定（演習）				
15	各検査部門における精度管理				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・学内実習などで得られた実データを使用することにより、精度管理に対する理解が深まる。 ・配布資料、講義ノート等を用いてしっかりと復習すること。 					
評 価 方 法					
定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。（項目ごとに数回の小テストを実施する。遅刻や欠席等で小テストを実施しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。また、再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。）					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 検査管理総論（著者：大澤進 出版：医歯薬出版株式会社） [参考書] 臨床検査精度管理教本（編集：日本臨床衛生検査技師会 出版：近代出版）					